



持続可能な島・佐渡の実現に向けて ～地域循環共生圏におけるシナジーの創出～

令和 7 年 3 月 5 日
佐渡市役所 企画部総合政策課
SDGs推進主幹 轡田 正幸

目次

1. 佐渡市（新潟県）について

2. 地域循環共生圏（ローカルSDGs）における シナジーの創出

佐渡市（新潟県）の概要

一般会計
当初予算額

令和7年度
467.5億円

令和6年度
480億円



産業は
農業・建設業・観光業が主体



日本最大の離島（沖縄を除く）

面積	855 km ²
海岸線（周囲）	280 km
人口	51,492人（R2.10.1国勢調査） ※ 47,977人（R7.1.末 住民基本台帳）
市内総生産額	1,581億円（R3年度市町村民経済計算）
産業別就業人口	第1次産業 4,724人（18.0%） 第2次産業 4,093人（15.5%） 第3次産業 17,486人（66.5%）
26,303人	

佐渡市を取り巻く現状と課題

人口減少の加速化

国勢調査人口

令和2年 51,492人
平成27年 57,255人
増減 ▲5,763人 (県内市町村27/30位)

出生数

令和5年 180人
平成27年 347人
増減 ▲167人

少子化・高齢化

高齢化率 (4.1 現在)

令和6年 43.0%
平成27年 39.4%
増減 +3.6%

地域経済・産業の縮小

課題先進地

ライフラインへの影響

環境

社会

地域コミュニティ 機能の低下

経済

文化

市町村内総生産・実額

令和3年 1,581億円
平成27年 1,703億円
増減 ▲122億円

限界行政区数 (4.1 現在)

令和6年 304/(707)行政区
平成27年 195/(708)行政区
増減 +109行政区

※65歳以上の高齢者が住民の半数以上の地区

化石エネルギーの島
生態系サービスの低下

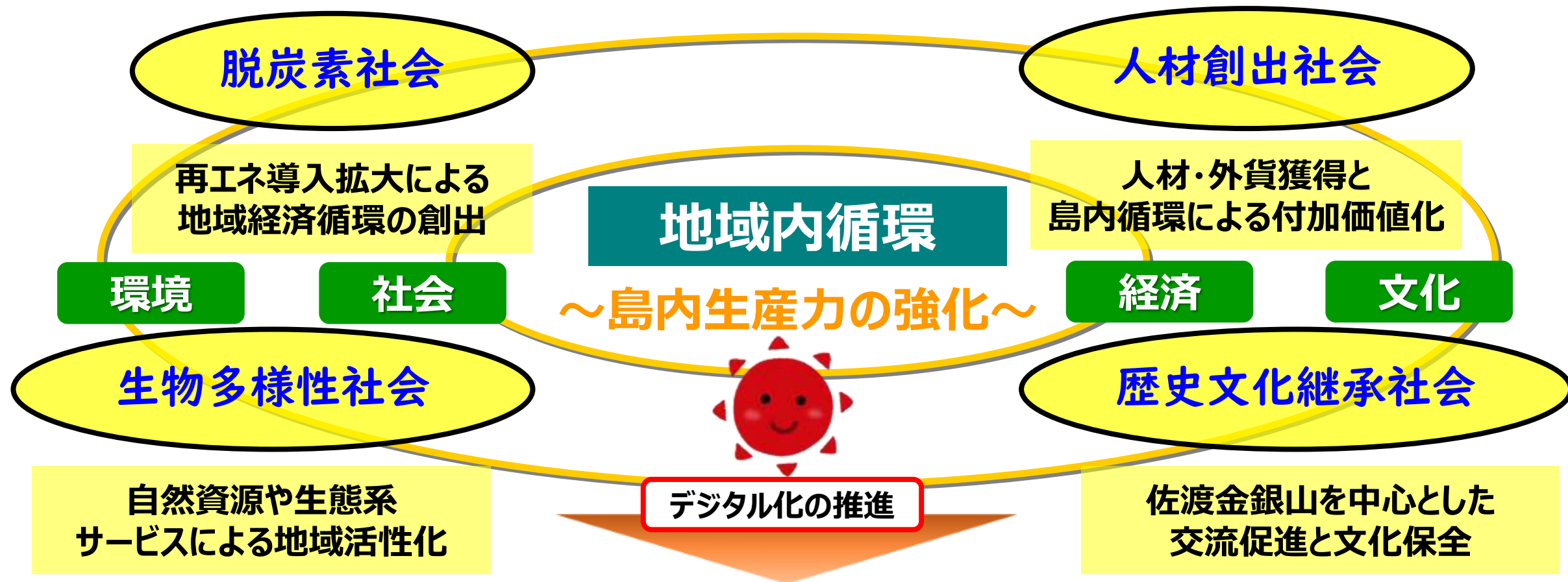
ライフライン (病院、水道、
道路) の危機

経済規模の縮小
小規模企業の衰退

地域・集落の喪失
伝統・文化の喪失

現状を踏まえた抜本的な対策(持続可能な仕組み)が必要

地域循環共生圏（ローカルSDGs）の創出



地域循環共生圏の創出から課題解決先進地へ

交通確保

医療確保

安全・安心な島づくり

防災対策

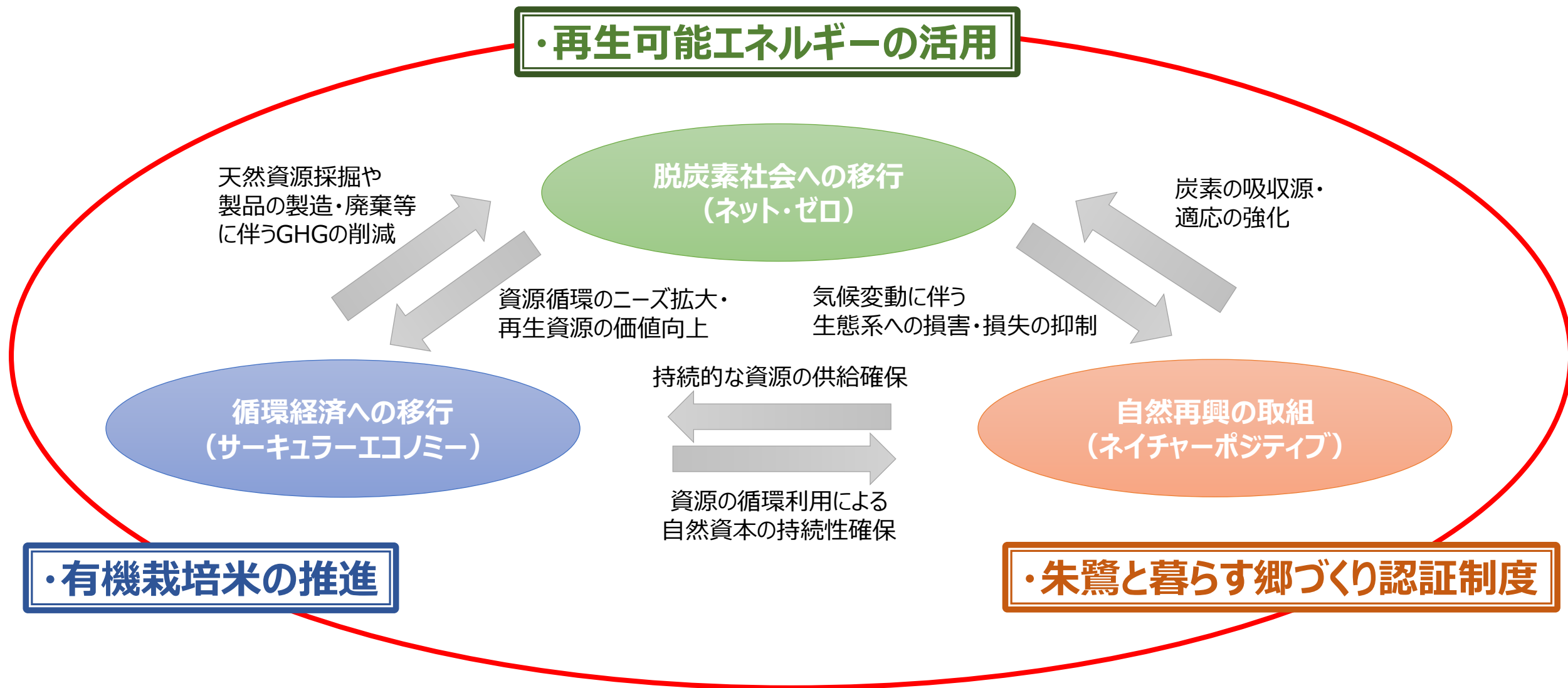
インフラ整備

目次

1. 佐渡市（新潟県）について

2. 地域循環共生圏（ローカルSDGs）における シナジーの創出

シナジー創出に関する主な取組



脱炭素先行地域選定証

新潟県 佐渡市
新潟県

貴団体の提案は2050年カーボンニュートラル
に向けて地域の魅力と質を向上させる地方
創生に資する脱炭素の実現の姿を2030年度
までに示す優れたモデルであることから
脱炭素先行地域に選定しこれを証します

令和4年6月1日

環境大臣

山口 健



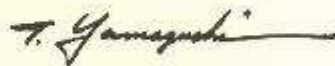
Decarbonization Leading Area Certificate

Sado City, Niigata Prefecture
Niigata Prefecture

Your organization proposes an excellent model
which shows a path toward decarbonization by
FY2030 and regional revitalization. The proposal
will eventually contribute to attaining the
national target of carbon neutrality by 2050.

I hereby present your organization
with this certificate of recognition as a
Decarbonization Leading Area.

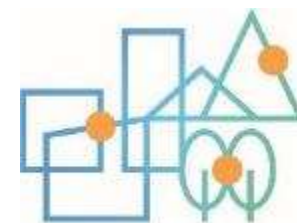
June 1st, 2022



YAMAGUCHI Tsuyoshi
Minister of the Environment, JAPAN



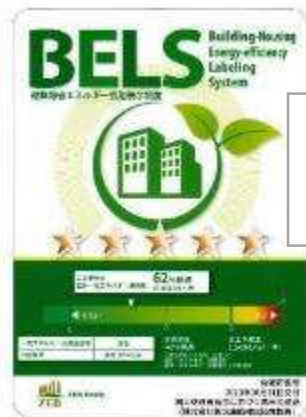
令和4年4月26日選定通知、6月1日選定証授与



新庁舎の省エネ化と太陽光発電設備の導入

脱炭素社会

新庁舎屋上に太陽光発電設備



令和5年10月31日交付
佐渡市本庁舎が「**ZEB Ready**」を取得

平常時

【再生可能エネルギーの導入（太陽光発電）】

市役所の消費電力を、将来的に太陽光で発電した電気で
100% 賄うことを目標としています。

ZEB庁舎へ

構造・規模

【新庁舎】：鉄筋コンクリート造3階建て（一部鉄骨造）
延床面積 5081.08㎡
【旧庁舎】：鉄筋コンクリート造3階建て
延床面積 2984.98㎡

災害時

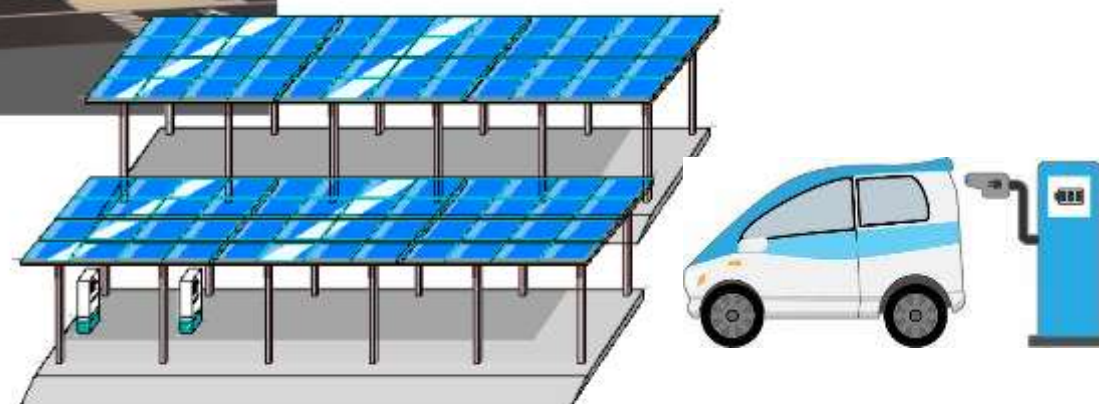
庁舎電力に活用

- ・照明（LED）
- ・充電用コンセント

+

電気自動車を利用し、
必要な場所へ電気を供給
（広い地域をカバー）

ソーラーカーポートを整備



公用車のEV化と充電設備の整備
（大型蓄電池も同時設置）

「脱炭素と災害に強い庁舎」を同時実現



平成20年9月 第1回試験放鳥 27年ぶり野生復帰へ

現在500羽を超えるトキが島内で生息



認定された農業遺産システム名
「トキと共生する佐渡の里山」

トキとの共生を目指した「生きものを育む農法」や棚田などの風景、伝統的な農文化などが評価され平成23年 佐渡市は日本で初めて世界農業遺産に認定された



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ネイチャーポジティブ佐渡島宣言

今、世界では、カーボンニュートラルに続く国際的な問題として、生物多様性の保全が取り上げられ、「2030年までに生物多様性の減少傾向を食い止め、回復に向かわせる」という地球規模の目標（ネイチャーポジティブ）へのコミットが表明されています。

1981年に野生絶滅したトキを2008年に野生復帰させ、現在569羽にするなど、生物多様性の保全に取り組む佐渡市では、このネイチャーポジティブの実現に向けて、ゼロカーボンアイランドの推進とともに、自然への投資や循環型経済が促進されるよう、次の活動を行います。

- 1 佐渡市では、保護地域および保護地域以外の場所で生物多様性保全に貢献する場所（OECM）が既に30%を超えているが、今後、さらに拡充させること
- 2 他地域の生物多様性を減少させる資源の移入・使用について、現状を把握し、削減に努めるとともに、自然環境や生物多様性の保全を発展的に展開することで、新たな産業創出等につなげること
- 3 トキとの共生を実現した地域として、ネイチャーポジティブに向けた知見・経験を他地域と共有しながら、生物多様性保全のパートナーシップを拡大すること

以上、ここに「ネイチャーポジティブ」を宣言し、地域循環共生圏の創出と安心して暮らし続けられる島づくりを目指して実践することを誓います。

令和4年10月23日

佐渡市長

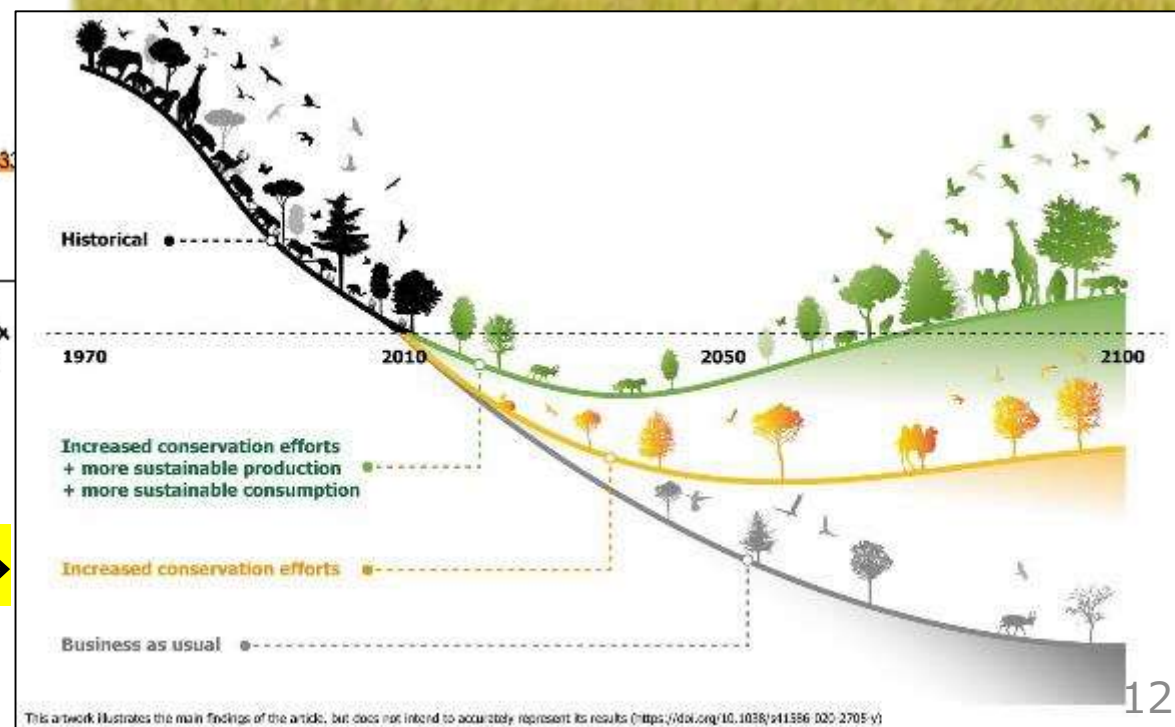
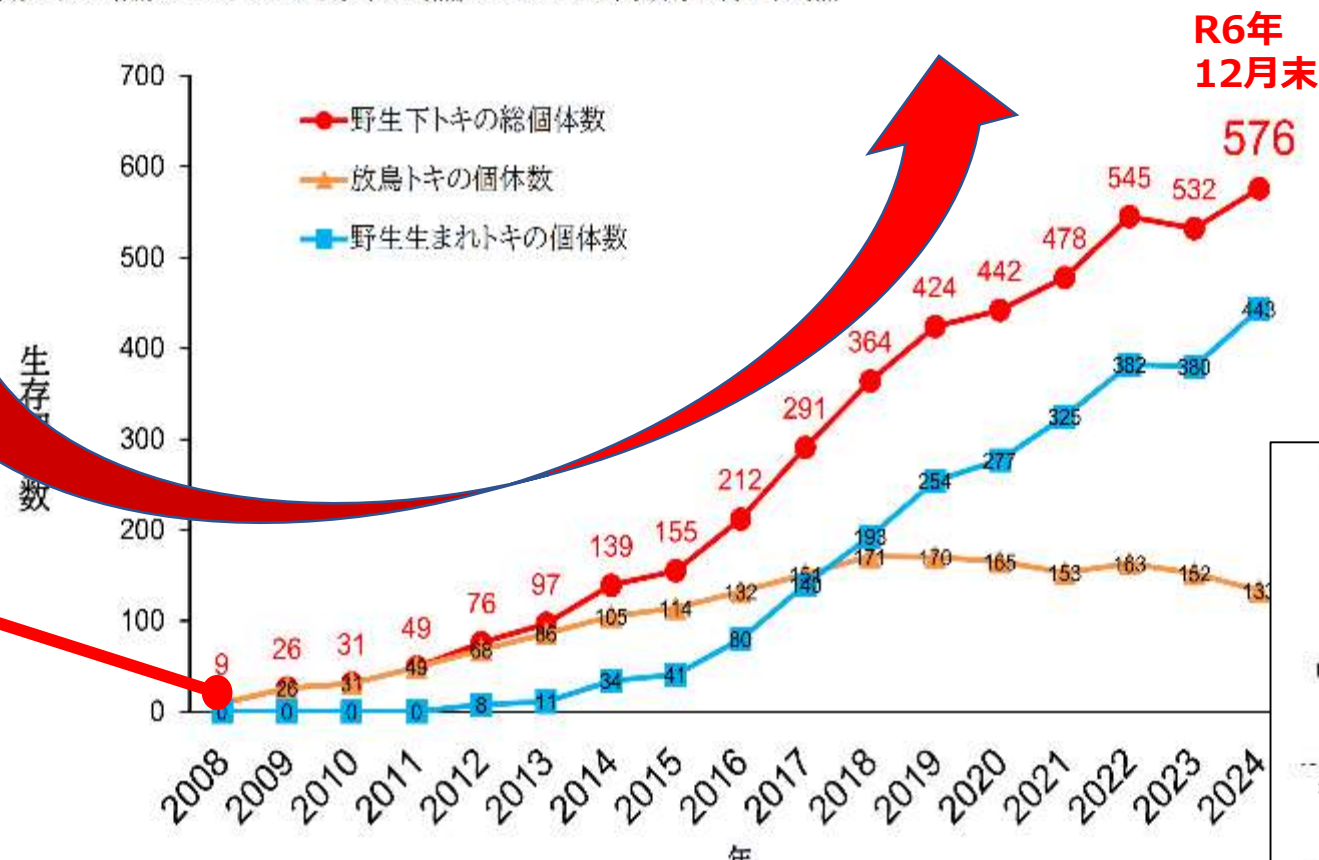
渡辺 竜五

令和4年10月23日宣言

環境大臣、農林水産副大臣、県知事からもメッセージ

- 1 佐渡市では、保護地域および保護地域以外の場所で生物多様性保全に貢献する場所（OECM）が既に30%を超えているが、今後、さらに拡充させること
- 2 他地域の生物多様性を減少させる資源の移入・使用について、現状を把握し、削減に努めるとともに、自然環境や生物多様性の保全を発展的に展開することで、新たな産業創出等につなげること
- 3 トキとの共生を実現した地域として、ネイチャーポジティブに向けた知見・経験を他地域と共有しながら、生物多様性保全のパートナーシップを拡大すること

※2019年以降はIPM(統合個体群モデル)による推定値
 ※2019年は10/23時点。2020年・2021年は9/29時点。2019～2021年以外は12月31日時点



トキ個体数 ↑ は、まるでネイチャーポジティブのよう→

平成19年 発足



水田や水路に江（深み）を設置



ビオトープの設置

「生きものを
育む農法」
を農業技術へ

生態系
の再生



ふゆみずたんぼ（冬期湛水）



魚道の設置



産官民が一体となった取組



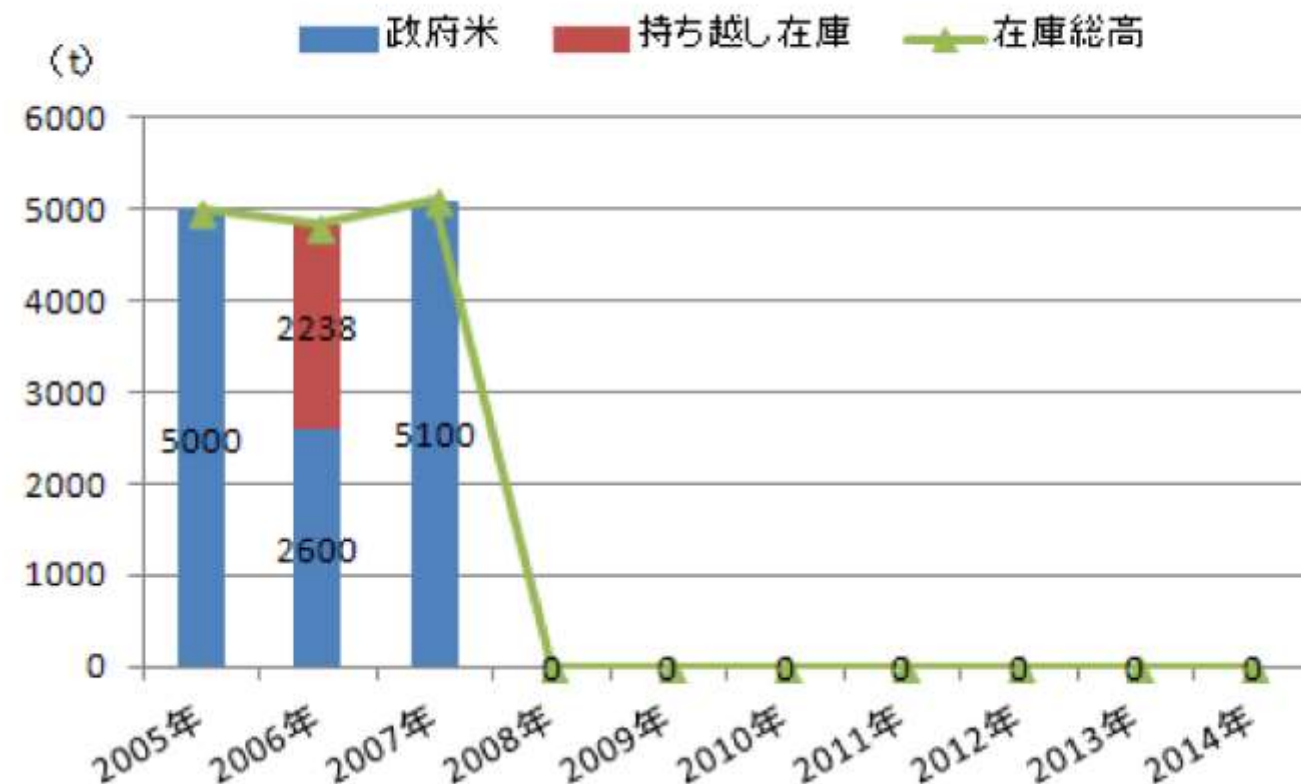
「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」

- 佐渡で栽培されたお米であること
- 「生きものを育む農法」により栽培
- 生きもの調査を年 2 回実施（6月・8月）
- 農薬・化学肥料を削減した栽培（慣行比 5 割以上減）
- 畦畔に除草剤を散布していない（夏の餌場の確保）

2008年（平成20年）以降 佐渡米の売れ残りはゼロ！



図：米の在庫高推移



「朱鷺と暮らす郷」米をご購入いただいたお客様の声

循環経済

今まで食べたお米の中で一番美味しい お米だと思います。

本当に炊いたあと時間がたっても美味しさは変わりませんね。

お米屋さんに朱鷺と暮らす郷づくりのポスターがあり、
目を通して見ると「生きものを育む農法」の事が詳しく説明されていました。

このお米なら安心して購入できると思い決めました。

トキの野生復帰のため、島全体で取り組んでいることに敬意を感じています。
毎月1回程度1時間半かけてトキ米を買いに行きます。

玄米で食べても白米にして食べてもおいしく、他のお米は食べられません。
安心して食べられるのが何よりも孫のためにありがたいです。

10年来、お米屋さんからの推薦で「朱鷺と暮らす郷」のお米を使っています。
成長期の息子には少し贅沢なお米？！ですが気に入ってます。

朱鷺と暮らす郷にしてから夫はお弁当のおにぎりを2～3個に増やしました。
これからも朱鷺が安心して暮らせる田んぼにしてください。応援しています。

おいしい

安心

応援している

多様な生物を育むことで生まれる経済との好循環

佐渡トキ応援お米プロジェクト



募金総額 約 4,000万円 都市消費者との交流 & 産地応援

佐渡市内 無農薬・無化学肥料栽培米実績と目標

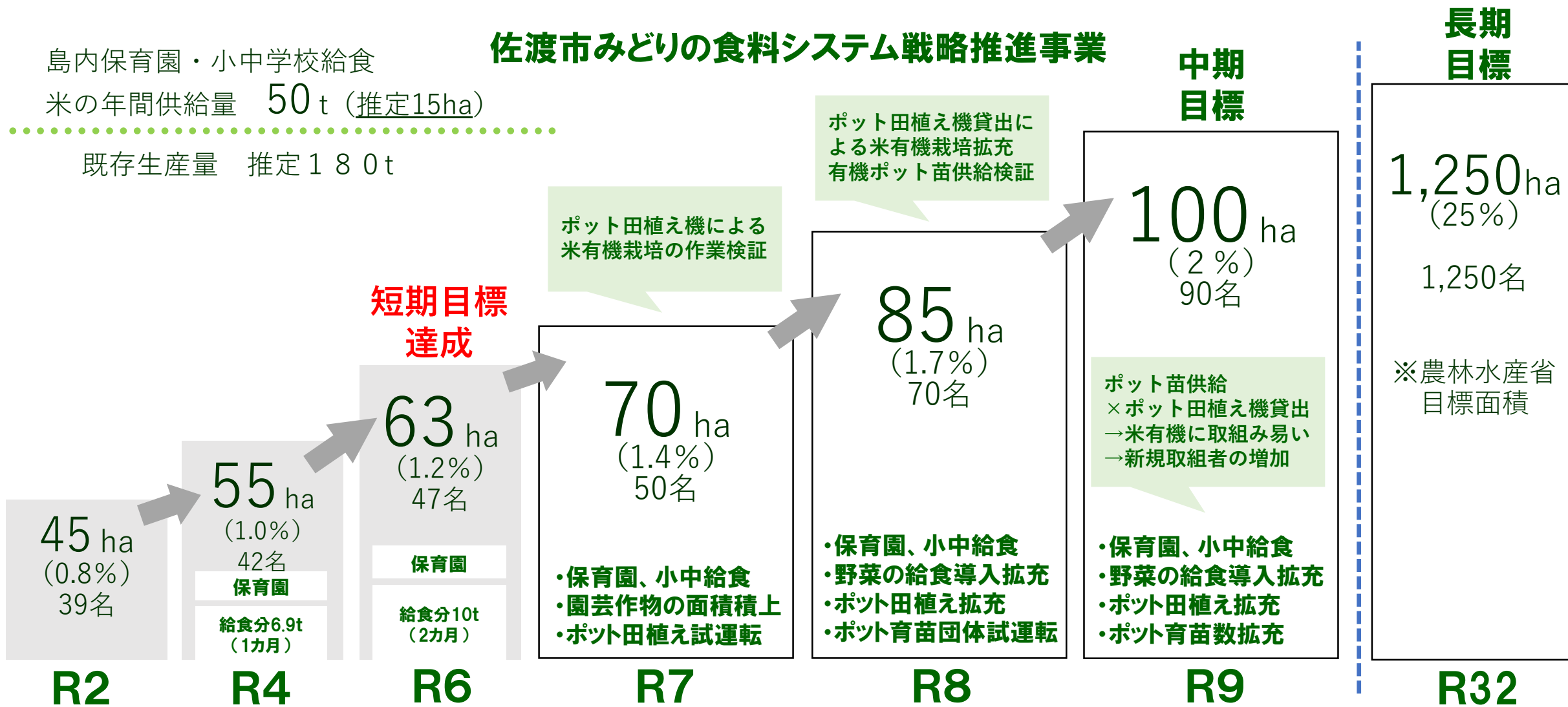
※ () は島内シェア率

佐渡市みどりの食料システム戦略推進事業

島内保育園・小中学校給食

米の年間供給量 50 t (推定15ha)

既存生産量 推定 1 8 0 t



保育園・学校給食への有機食材を試験的に導入開始
市長や生産農家が直接子どもたちに話をします

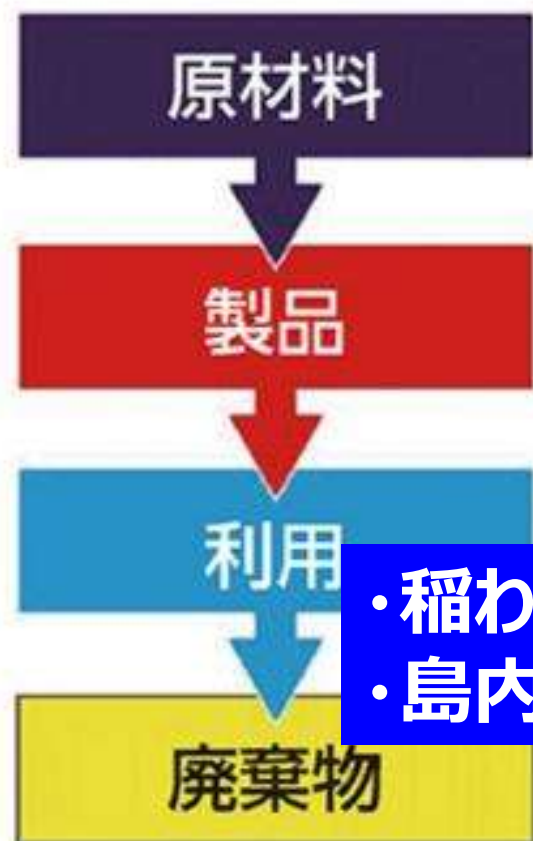


無農薬・無化学肥料栽培米を保育園、小・中学校で提供開始
(R4年度より開始、R6年度実績：2ヵ月間)

リニアエコノミー (線型経済)

サーキュラーエコノミー (循環経済)

※限りある資源の効率的な利用等により世界で約 500 兆円の経済効果があると言われている成長市場 (出典: Accenture Strategy 2015)



- ・稲わらの堆肥化
- ・島内資源循環の推進



- ・無農薬、無化学肥料栽培米の推進

- ・佐渡米の全量販売
- ・フォローアップ
- ・食育展開

持続可能な島・佐渡の実現に向けて



ネイチャーポジティブ

人と自然との共生

多様な地域資源
の持続的な活用



健康寿命日本一へ
誰もが活躍できる島づくり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



ローカルSDGsの創出
地域経済の好循環

サーキュラーエコノミー



デジタル化の推進



ネット・ゼロ

自立・分散型の
再生可能エネルギー
のベストミックス

地産地消と
食育の推進



文化の継承と
集落コミュニティの維持

100年先も 笑顔あふれる島へ

ご清聴ありがとうございました